

令和8年6月26日22時28分の山梨県東部・富士五湖の地震 における地震の現地調査について（報告）

甲府地方気象台は、昨日（6月28日）、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT※）」を派遣し、震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施しました。調査結果の概要は以下のとおりです。

※JMA-MOT=JMA Mobile Observation Team

1. 震度観測点の観測環境の点検結果

令和8年6月26日22時28分の山梨県東部・富士五湖の地震により、震度6弱を観測した「富士河口湖町長浜（ふじかわぐちこまちながはま）」（気象庁以外の観測点）、震度5強を観測した「大月市御太刀（おおつきしみたち）」（気象庁以外の観測点）の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

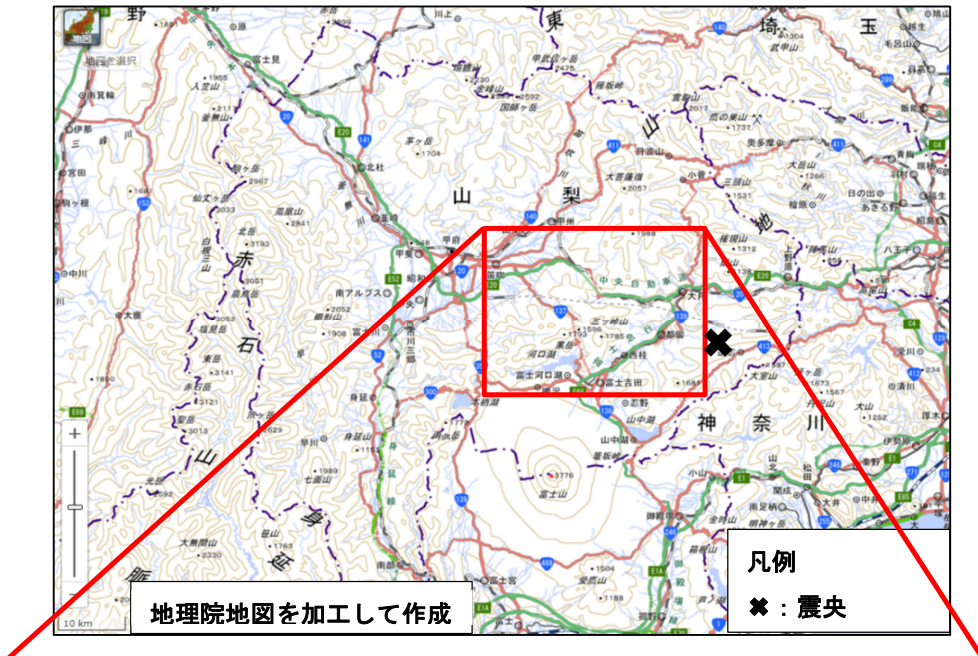
2. 震度観測点周辺の被害状況

震度観測点から概ね 200m 以内の範囲で被害状況の調査を実施しました。主な被害状況は以下のとおりです。

震度観測点 （観測した震度）	周辺の主な被害状況
富士河口湖町長浜* （6弱）	・書籍等が棚から落下し、散乱。 ・壁掛け時計が落下。
大月市御太刀* （5強）	・花瓶が落下、破損。 ・一部の書籍が棚から落下。 ・天井のモルタルや天井板の一部が落下。

（*は気象庁以外の観測点）

3. 調査を実施した震度観測点



現地調査実施地点 (*は気象庁以外の観測点)

問合せ先：甲府地方気象台 担当 田中、菊池
 電話 055-222-9101